

承認番号：

承認年月日：年 月 日

遺伝子組換え生物等使用実験計画書（第一種・第二種）

年 月 日

第二種使用等実験	<input type="checkbox"/> 機関実験 <input type="checkbox"/> 大臣確認実験（第二種使用等拡散防止措置確認申請をすること。）		
大臣確認実験となる根拠			
大臣確認実験となる遺伝子組換え生物等の種類・入手先	生物種：		
	入手先：		
機関実験として使用する遺伝子組換え生物等の入手： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	カルタヘナ法以外の関係法令等の規制の有無： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
生物種：	<input type="checkbox"/> 感染症法（厚生労働省） <input type="checkbox"/> 家畜伝染病予防法（農林水産省）		
入手先：	<input type="checkbox"/> 植物防疫法（農林水産省） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
遺伝子組換え生物等の譲渡等（譲渡・提供・委託）： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 未定			
相手先：			

申請の種類	実験の区分	拡散防止措置の区分	経費
<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 微生物使用実験 <input type="checkbox"/> 植物等使用実験	<input type="checkbox"/> P1 <input type="checkbox"/> LSC	<input type="checkbox"/> 文科省運営
<input type="checkbox"/> 変更 (承認年月日：年 月 日 , 承認番号：)	<input type="checkbox"/> 大量培養実験 <input type="checkbox"/> 植物作成実験	<input type="checkbox"/> P2 <input type="checkbox"/> LS1	費交付金
	<input type="checkbox"/> 動物使用実験 <input type="checkbox"/> 植物接種実験	<input type="checkbox"/> P3 <input type="checkbox"/> LS2	<input type="checkbox"/> 文科省等
	<input type="checkbox"/> 動物作成実験 <input type="checkbox"/> きのこ作成実験	<input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P1P	科研費
	<input type="checkbox"/> 動物接種実験	<input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P2P	<input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 細胞融合実験（異なる分類学上の科に属する生物の細胞融合） <input type="checkbox"/> 教育目的遺伝子組換え実験	<input type="checkbox"/> P3A <input type="checkbox"/> P3P	()
		<input type="checkbox"/> その他	

実験の名称						
実験実施期間		年 月 から 年 月 まで (変更後の開始時期：年 月 から)				
実験責任者	配属又は所属部局等の所在地	(〒)				
	配属又は所属部局等・職名	広島大学				
	氏 名	TEL FAX E-mail				
	登録番号：	宿主及びその取扱い経験年数：		組換えDNA実験経験年数：		
実験場所	所 在 地	(〒)				
	名 称					
	承 認 番 号					
飼養・栽培等場所	所 在 地	(〒)				
	名 称					
	承 認 番 号					
実験従事者	配属又は所属部局等・職名	氏 名	登録番号	宿主及びその取扱い経験年数	組換えDNA実験経験年数	
実験の目的						
実験の概要						
実験を行う必要性						

※ 動物を宿主とする場合のみ記入すること。

供与核酸のうち宿主が有していない病原性微生物の感染受容体となるものがあるか

☐ある

☐ない

感染受容体となるか調べた具体的な方法

(

)

供与体・ベクター・宿主の組み合わせ								
核酸供与体 (クラス)	核酸の 種類	未同定DNA 実験に 係る単離 予定のDNA	同定済DNA 実験に係る 供与DNA	ベクター	宿主 (クラス)	保有 動植物等	封じ 込め レベル	備考 (動物を宿主と する場合、供与 核酸のうち宿主 が有していない 病原性微生物の 感染受容体とな るか記載)

遺 伝 子 組 換 え 生 物 等 の 特 性	核酸供与体の特性	
	供与核酸の特性	
	ベクター等の特性	
	宿主等の特性	
	遺伝子組換え生物等の特性（宿主等との相違を含む。）	

遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等の特性		
拡 散 防 止 措 置	区分及び選択理由	
	遺伝子組換え生物等を不活化するための措置	
その他		

安全主任者確認欄

上記の実験計画は、

☐大臣承認実験

☐大臣確認実験

☐機関実験

であり、実験計画書に不備のないことを認めます。

安全主任者部局・職・氏名

印

* 遺伝子組換え生物等を譲渡、提供、委託並びに移動する場合は、情報提供を行うこと。

* 「遺伝子組換え生物等使用実験計画書記入要領」により作成すること。

大臣確認チェックリスト

1. 実験責任者は実験計画書を作成する際、部局安全主任者は実験計画書を確認する際必ずチェックし、実験計画書と一緒に提出してください。
2. 該当する実験にチェックを入れてください
3. 該当する場合は○を、しない場合は×をつけてください。
4. チェック欄の○がつけば大臣確認実験になる可能性があります。

課題名					
部局名		実験責任者名		部局安全主任者名	
クラス・ 拡散防止措 置(レベル)	項 目	実験責任者 チェック欄	安全主任者 チェック欄	→	大臣 確認
<input type="checkbox"/> 微生物使用実験					
クラス 4	宿主・核酸供与体のどちらかが実験分類（クラス）がクラス 4 か（無条件に大臣確認）			→	
クラス 3	クラス 3 の宿主であるか			→	
	クラス 3 の核酸供与体であり、認定宿主ベクター系を用いず、供与核酸が未同定であるか又は宿主の病原性を高めるか			→	
クラス 2	クラス 2 の宿主であり（ウイルスを除く）、供与核酸が薬剤耐性遺伝子であるか（感染した場合に治療が困難となるものが該当）			→	
クラスに 関係なし	自立的な増殖力及び感染力を保持したウイルス又はウイロイド（文部科学大臣が定めるものを除く。）である遺伝子組換え生物等であって、その使用等を通じて増殖するものであるか			→	
	供与核酸が蛋白性毒素の遺伝子であるか（半数致死量100 μg/kg体重以下、EK1又はEK2を用いている場合は100ng/Kg体重以下）			→	
<input type="checkbox"/> 大量培養実験					
クラスに 関係なし	培養する微生物が大臣確認の必要なものであるか			→	
クラス 3	クラス 3 の核酸供与体であり、特定認定宿主ベクター系を用いないか			→	
クラス 2	認定宿主ベクター系を用いず、供与核酸が宿主の病原性を著しく高めるか			→	
LSC (レベル)	LS1、LS2レベルの拡散防止措置を執るべき培養をLSCレベルで行うか			→	
<input type="checkbox"/> 動物使用実験					
クラスに 関係なし	接種する微生物が大臣確認の必要なものであるか			→	
	供与核酸が病原性微生物の感染受容体（宿主が有していないもの）遺伝子であるか			→	
特定飼育区 画（レベ ル）	P1A、P2A、P3A（レベル）の拡散防止措置を執る必要のある動物を特定飼育区画で飼育するか			→	
<input type="checkbox"/> 植物等使用実験					
クラスに 関係なし	接種する微生物が大臣確認の必要なものであるか			→	
特定網室 (レベル)	P1P、P2P、P3P（レベル）の拡散防止措置を執る必要のある植物を特定網室で栽培するか			→	
<input type="checkbox"/> 細胞融合実験					
	異なる科に属する生物の細胞融合実験であるか（モノクローナル抗体作製などに類似する細胞レベルの実験は除外）			→	